



# 町のわだい

今月の題字 佐々木 結来さん（船越小4年）



## 郷土芸能祭14年ぶりに復活 多彩な舞に350人の拍手喝采

11月28日、令和3年度山田町郷土芸能祭が町中央公民館で開かれ、来場した350人が脈々と受け継がれてきた多彩な舞を堪能しました。14年ぶりの開催となった同芸能祭には、八幡大神楽保存会や山田境田虎舞など各地区の芸能団体など9団体が出演。「山田祭り」などの開催も見送られる中、久々の一堂に会しての熱演に会場からは盛んな拍手が送られました。伝統芸能を楽しみにしているという菅田美世子さんは「子どもたちが一生けん命に踊る姿に感動しました。これからも続いていってほしいです」と目を細めていました。

## 家族連れら600人が交通安全体験 ルール守る大切さを再確認

右を見て、左を見て、もう一度右を見て——。交通安全への意識向上を目的に11月21日、町と内閣府などが主催する「わくわく交通安全体験inやまだ」が開かれました。会場の船越公園と鯨と海の科学館には家族連れら600人が来場。交通事故の衝撃を体感できるシートベルトコンビンサー体験やスタントマンによる再現シーンを通じ、ルールを守る大切さを再認識していました。交通指導隊員による「こども交通安全教室」に参加した中村美依奈さん(10)は「事故に遭わないように気をつけたいです」と姉妹で交通ルールの確認をしていました。



## 「山田まるっと産直まつり」に1,700人 プリッと新鮮なカキに舌鼓

12月5日、町の特産品を存分に味わってもらおうと、町と町観光協会が主催する「山田まるっと産直まつり」が山田漁港で開かれ、町内外から1,700人の行楽客が訪れました。「鮮魚詰め放題」の販売コーナーには長蛇の列ができ、購入した海産物をその場で焼いて食べられるバーベキューコーナーも大盛況。焼き上がった新鮮なカキやホタテに舌鼓を打っていました。盛岡市から家族と訪れた山中焯織さん(8)は「プリットとしていておいしいです」と、焼きたてのカキを美味しそうに頬張っていました。